

バルコとヤマハ、アライアンスパートナーシップを締結 “対面式会議と変わらない”クオリティのリモート会議体験を実現 ～ClickShareとYVCの連携でハイブリッドなミーティング環境を実現～

バルコ株式会社（本社：東京 代表取締役社長：加藤 浩典、以下「バルコ」）は、ヤマハ株式会社（本社：静岡 代表取締役社長 中田 卓也、以下「ヤマハ」）とアライアンスパートナーシップを締結しました。バルコが提供する会議ソリューションツール「ClickShare」と、ヤマハが提供するリモート会議用スピーカーフォン「YVC-200」「YVC-330」「YVC-1000」を連携して使用することで、新型コロナウイルス拡大の影響で広がるハイブリッドなワークスタイルをより快適にします。



【ハイブリッドワークの増加と会議ソリューションツールの需要拡大】

新型コロナウイルス感染対策としてテレワークが一般化するなか、出社とテレワークを併用し、ハイブリッドなワークスタイルを実現する企業が増加しています。WEB会議の場合は、会社内ミーティングスペース・自宅等の社外スペースからの会議参加者が混在するため、ハイブリッドな会議をより快適に、スムーズに実施するための会議ソリューションの需要も高まりを見せています。

【バルコとヤマハのアライアンスパートナーシップについて】

バルコとヤマハは、アライアンスパートナーシップを締結し、社内・社外からのオンライン会議参加者が混在するハイブリッドな会議を、より快適に実施するためのソリューション提供を行ってまいります。

バルコの「ClickShare CXシリーズ」は、ワンクリックで遠隔画面共有を行える独自性の高いハードウェアソリューションであるため、これまでソフトウェア的な制御が中心だったオンライン会議の画面共有操作のさらなる簡素化の実現が可能です。ディスプレイと複数のPC間の接続のワイヤレス化に加え、リモート会議に必要とされるカメラやマイクなどのUSB周辺機器を統合し、ワイヤレスで制御できるルームドック機能を備えており、新しいコラボレーションを提唱するワイヤレスコンファレンスソリューションです。

ヤマハの「YVCシリーズ」は、チームコラボレーションに重心をおいた働き方やオフィス空間の変化に対応し、さわがしいオープンスペースから小・中・大規模の会議室まで、オフィスのあらゆるシチュエーションで快適な遠隔会話体験を実現するスピーカー・マイクソリューションです。まるで同僚とオフィスで会話しているような、クリアで快適な会話を実現し、スムーズな会議を提供します。

これらのソリューションを組み合わせることで、対面式の会議と同じように自然な、室内および遠隔地の参加者向けの魅力的な会議体験が実現します。

製品のお問合せは、バルコClickShareまたはヤマハYVCの各販売店様にお願いいたします。

【関連URL】

- ClickShare : <https://www.barco.com/ja/clickshare>
- ヤマハ YVCシリーズ : <https://sound-solution.yamaha.com/products/uc>

【製品情報】

<ClickShare CXシリーズ>

「ClickShare CXシリーズ」は、リモート会議における新しいコラボレーションのスタイルを提唱するワイヤレスコンファレンスソリューションとして、2020年に新しくリリースされました。ディスプレイと複数のPC間の接続を無線化するだけでなく、リモート会議で使用するカメラ、マイク、スピーカーフォンなどのUSB機器とワイヤレスで接続するルームドックと、利用者が手元で操作できる専用ボタンで構成されています。専用ボタンをPCに挿すことで、ルームドックに接続されたUSB機器をワイヤレスで操作できるようになり、ワンクリックでリモート会議を始める準備を整えることができます。また、映像や音声をClickShareに接続されたPC間で共有することができるため、会議に参加する全員がWeb会議ツールを起動させる必要はなくなり、音声と映像の品質を保ちます。



CX-20

CX-30

CX-50

<YVC-200>

1～4名程度の打合せに最適なポータブルUSB&Bluetoothスピーカーフォンです。360°全方位をカバーする「YVC-200」のマイクは、参加者の音声を逃さず收音。收音された音声は、ヤマハ独自の音声信号処理が加わることで、ストレスとトラブルのない快適な会話体験を提供します。バッテリー内蔵、小型・軽量でカバンに入れて持ち運べるため、ミーティングコーナー・自宅・外出先などあらゆる場所で利用可能。白と黒のカラーバリエーションと、空間に溶け込むようなフォルムとシンプルでスタイリッシュなデザインも特徴です。



YVC-200

<YVC-330>

4～6名程度の小規模遠隔会議に最適なUSB&Bluetoothスピーカーフォンです。騒音の多い環境下でも快適なリモートコミュニケーションを実現する“Sound Cap”テクノロジーを搭載しているため、周囲の音が入り込みやすいオープンな打ち合わせスペースなどでも快適に使用いただくことが可能です。

また、スタンダードモードは6名程度の中規模会議に最適で2台連結で大きな会議室でも利用可能。3個の“高性能”マイクによる話者追尾機能で高音質な收音とヤマハ独自の多彩な音声技術、USBバスパワーでクラス最大の豊かな音量（瞬間最大91dB）が明瞭な会話体験を実現します。



YVC-330

【製品情報】

<YVC-1000>

8～40人規模*の中大会議に最適なUSB & Bluetoothスピーカーフォン。マイクとスピーカーを独立させた分離型を採用しています。低音から高音までクリアに再生できるスピーカーをディスプレイの前に置くことで、映像と音声の一体感を生みだし、ストレスのない双方向会話をサポートする適応型エコーキャンセラーなどヤマハの多彩な音声処理技術が自然で快適な遠隔コミュニケーションを実現します。

連結できる拡張マイクで利用人数や会議室レイアウトにフレキシブルに対応するだけでなく、外部スピーカーやハンドマイクとも接続可能。優れた拡張性で幅広い用途に対応し、小規模・中規模・40人を超える大規模会議から、大きな会場でのオンライン授業やセミナー配信など、様々なリモート会議スタイルを手軽に実現します

*本体（スピーカー兼コントロールユニット）1台にマイク1台を付属の標準構成、オプションの拡張マイクを4台（合計5台）まで増設可能



YVC-1000

【会社概要】

バルコについて

バルコは1934年にベルギーで創業（日本法人であるバルコ株式会社は1995年設立）しました。その歴史はラジオの製造から始まり、現在ではディスプレイ技術、プロジェクション技術、コラボレーション技術を核に、主にエンターテインメント、ヘルスケア、エンタープライズ向けに可視化ソリューションを開発、設計しているグローバルなテクノロジー企業です。現在では90か国以上に販売拠点をもち、2019年の連結総売上は1,000Mユーロを超え、従業員約3,600名、400を超える特許を取得しています。

※Barco ClickShareについては、clickshare.jp をご参照ください。

ヤマハについて

ヤマハ株式会社は、1887年の創業以来、楽器を中心とするさまざまな製品・サービスを提供し、音・音楽を原点に培った技術と感性で、新たな感動と豊かな文化を世界の人々とともに創りつづけることを目指してきました

現在では、楽器だけでなく、業務用音響機器、ホームオーディオ機器などの音・音楽・音響に関わる事業からネットワーク関連機器、半導体を中心とした部品事業に至るまで、幅広く、グローバルに事業を展開しています（従業員約20,000人、子会社数61社/内連結対象：57社）。